

## お読みください

# Fiery Color Profiler Suite を使用した Fiery プリントコントローラー用カスタム出力プロファイルの作成：システム 9R2

本書では、Fiery プリントコントローラー用のカスタム出力プロファイルを、Fiery Color Profiler Suite を使用して作成する手順について説明します。この手順では、カスタムキャリブレーション設定の作成などの作業を、Command WorkStation で行う場合もあります。

本書の情報は、v4.0 以降の Fiery Color Profiler Suite で有効です。

Fiery プリントコントローラーには、工場出荷時設定の出力プロファイルが 1 つ以上付属しています。推奨された用紙と印刷設定を用いて印刷する場合、工場出荷時設定の出力プロファイルとこれらに関連するキャリブレーション設定を使用することで、カラー品質は妥当なものになる場合があります。ただし、別の種類の用紙で印刷する場合や特定のプリンターで最良の結果を得るには、カスタムキャリブレーション設定やカスタム出力プロファイルを作成することが成功する事例となります。本書では、カスタムキャリブレーションセット（お使いの Fiery プリントコントローラーがこの機能をサポートしている場合）とカスタム出力プロファイルの作成方法について説明します。

Fiery プリントコントローラーでキャリブレーションを行うには、各出力プロファイルはキャリブレーションターゲット（目標）とキャリブレーション設定に関連付けられている必要があります。Fiery プリントコントローラーは、測定の際にキャリブレーションターゲットを使用し、印刷色を一定に保つために必要な調整をキャリブレーション設定から判断します。Fiery プリントコントローラーでのキャリブレーションの詳細については、Fiery プリントコントローラー付属の説明書の一部である『カラー印刷』を参照してください。

## Fiery プリントコントローラーのシステムソフトウェア

カスタムキャリブレーション設定とカスタム出力プロファイルを作成する方法は、Fiery プリントコントローラーのシステムソフトウェアバージョンにより異なります。システム 10 以前のバージョンでは、キャリブレーションターゲットは出力プロファイルに含まれるため、カスタム出力プロファイルに適切なキャリブレーションターゲットが設定されていることを確認する必要があります。システム 10 以降の Fiery プリントコントローラーソフトウェアでは、キャリブレーションターゲットは出力プロファイルとは別に、Command WorkStation で作成します。

ソフトウェアバージョンがシステム 9R2 の Fiery プリントコントローラーでは、本書の手順を使用してください。



## はじめに

プリンターは正常に使用できる状態であることを確認します。

プリンターのキャリブレーションがサポートされている場合、プリンターをキャリブレートします。プリンターのキャリブレーションの詳細については、プリンター付属の説明書を参照してください。

シェーディング補正やグラデーション調整など、プリンターを準備するために推奨される手順をすべて実行します。

コンピューターに、最新の Command WorkStation と Color Profiler Suite がインストールされていることを確認します。

プロファイルを設定するのに十分な数の用紙（100 枚以上）を用意します。最良の結果を得るには、A3、タブロイドやさらに大きな用紙サイズを使用してください。

用紙をプリンターにセットします。通常の印刷ワークフローに Paper Catalog で用紙を選択する手順がある場合は、その用紙に対して Paper Catalog エントリを設定してください。

## 用プロファイルの作成 Fiery プリントコントローラー

システム 9R2 の Fiery プリントコントローラーソフトウェアでは、カスタム出力プロファイルの作成に 2 つの方法があります。お使いのモデルで推奨されている方法を使用してください。

お使いの Fiery プリントコントローラーのモデルに応じて、次のいずれかを実行できます：

- Fiery Color Profiler Suite を使用して、適切なキャリブレーションターゲットを含む出力プロファイルを作成する。または、
- Fiery Color Profiler Suite を使用して、キャリブレーションターゲットを含まない出力プロファイルを作成し、そのプロファイルを Fiery プリントコントローラーにインポートする際に Command WorkStation でキャリブレーションターゲットを追加する。

### 推奨方法の確認

お使いの Fiery プリントコントローラー用のカスタムキャリブレーションセットとカスタム出力プロファイルを作成する場合の推奨方法を確定するには、Color Profiler Suite を使用します。

---

### カスタム出力プロファイルを作成する場合の推奨方法を確定するには

- 1 Color Profiler Suite で、「プリンター」をクリックして Printer Profiler を起動したら、「パッチの印刷」をクリックします。

- 2 「ようこそ」画面で、「Fiery サーバーの選択」をクリックし、Fiery プリントコントローラーを選択し、「次へ」をクリックします。

Fiery プリントコントローラーはネットワークに接続されている必要があります。

- 3 「キャリブレーションセットアップ」画面で、「キャリブレーション設定」を確認します。  
デフォルト設定は、Fiery プリントコントローラーのモデルにより異なります。

#### デフォルト設定

#### 推奨方法

キャリブレーションの最適化 次のセクション「[「キャリブレーションの最適化」オプションを使用したプロファイルの作成](#)」のページ 3 に進む。

現在のキャリブレーションの使用 「[現在のキャリブレーションの使用](#)」オプションを使用したプロファイルの作成」のページ 6 にスキップする。

- 4 「キャンセル」をクリックしたら、もう一度「キャンセル」をクリックして、Printer Profiler を終了します。

## 「キャリブレーションの最適化」オプションを使用したプロファイルの作成

### カスタムキャリブレーションセット

お使いの Fiery プリントコントローラーがカスタムキャリブレーションセットをサポートしている場合、まずカスタムキャリブレーションセットを作成します。

**メモ:** カスタムキャリブレーションセットを作成するには、Command WorkStation にシステム管理者の権限が必要です。

### FIERY プリントコントローラーでカスタムキャリブレーションセットを作成するには

- 1 プロファイルを設定する用紙を使用して、プリンターの準備を整えます。

プリンターの準備を整える良い方法は、かなりの量のすべてのトナーを必要とするジョブを 20 枚以上印刷することです。

- 2 Command WorkStation で、「サーバー」> 「キャリブレート」を選択します。

Calibrator が別ウィンドウで起動します。

- 3 「測定方法」で、ES-1000 を選択します。

この選択では、ES-1000 または ES-2000 分光光度計を使用することができます。

- 4 「キャリブレーションセット」で、「管理」を選択します。

「管理」オプションが使用できない場合は、お使いの Fiery プリントコントローラーはカスタムキャリブレーションセットをサポートしていないことを示しています。この場合、使用する用紙に最も近い用紙向けの工場出荷時設定のキャリブレーションセットを使用して Fiery プリントコントローラーをキャリブレートしたら、次のセクション（[カスタム出力プロファイル](#)）にスキップしてカスタム出力プロファイルを作成します。

**メモ：**「管理」オプションが使用できず、お使いの Fiery プリントコントローラーには 1 種類の用紙向けのキャリブレーションセットしか付属していない場合は、そのキャリブレーションセットを使用してキャリブレートしたら、次のセクション（[カスタム出力プロファイル](#)）にスキップしてカスタム出力プロファイルを作成します。

**5 一覧からいずれかのキャリブレーションセットを選択します。**

使用する用紙に最も近いキャリブレーションセットを選択します。たとえば、そのキャリブレーションセットは、同じブランドでも重さが異なる用紙向けの場合があります。

**6 「推奨用紙」の説明を新たに入力した後、これ以外に表示される印刷オプションの設定を選択し、「保存」をクリックします。**

「推奨用紙」に、用紙パッケージの説明をそのまま入力します。これ以外に表示される印刷設定（「画面」など）を行います。

画面設定やその他の印刷設定は、このキャリブレーション設定に特有のもので、最良の結果を得るには、使用する印刷設定の組み合わせごとに別のキャリブレーション設定を使用してください。

**7 カスタムキャリブレーションセットの名前を入力し、これに関連付ける出力プロファイルを選択します。**

用紙の種類と印刷設定（解像度や画面など）を示す名前にしてください。

ここで、出力プロファイルを選択します。カスタム出力プロファイルとのこの関連付けは、プロファイルを作成した後に、変更することになります。

**8 「OK」をクリックします。**

選択した出力プロファイルのコピーが作成され、新しいキャリブレーションセットと関連付けられます。そのコピーには、キャリブレーションセットの名前が末尾に付加されます。コピーされたこのプロファイルは、カスタム出力プロファイルを新規に作成した後に、削除することになります。

### カスタム出力プロファイル

次に、Color Profiler Suite を使用して、カスタム出力プロファイルを作成します。

#### COLOR PROFILER SUITE でカスタム出力プロファイルを作成するには

- 1 Color Profiler Suite で、「プリンター」をクリックして Printer Profiler を起動したら、「パッチの印刷」をクリックします。
- 2 「ようこそ」画面で、「Fiery サーバーの選択」をクリックし、Fiery プリントコントローラーを選択します。

Fiery プリントコントローラーはネットワークに接続されている必要があります。

**メモ：**「色空間」が CMYK（デフォルト設定）に設定されていることを確認してください。

- 3 測定ページを印刷する場合、使用する用紙に適したメディア設定を選択し、カスタムキャリブレーションセットを作成する際に選択したのと同じ印刷設定(ハーフトーン画面など)を選択します。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、工場出荷時設定のキャリブレーションセットを使用してキャリブレートする場合と同じ印刷設定を選択します。

- 4 測定ページを測定し、測定値を処理します。
- 5 「設定の適用」画面で、プロファイルを設定している用紙に最も近い用紙向けの既存の出力プロファイルを選択します。

たとえば、プロファイルを設定している用紙がコート紙の場合、コート紙向けの出力プロファイルを選択します。作成しているプロファイルの設定には、選択したプロファイルの設定を使用します。

- 6 (オプション) GCR を増加させるには、「ブラックコントロールの編集」をクリックし、「ブラック幅」を増加します。

GCRが増加するとメタメリズムが減少しますが、粒状性は増加する場合があります。

- 7 「プロファイルの保存」画面で、Fiery プリントコントローラーが選択されていることを確認し、「Fiery サーバーにインストール」をクリックします。

- 8 プロファイルを保存する際に表示される「プロファイル設定」画面の「キャリブレーション」で、作成済みのカスタムキャリブレーションセットを選択し、「OK」をクリックします。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、使用する用紙に最も近い用紙向けの工場出荷時設定のキャリブレーションセットを選択します。

カスタム出力プロファイルは Fiery プリントコントローラーにインストールされ、指定したキャリブレーションセットと関連付けられます。

- 9 「完了」をクリックして、Printer Profiler を終了します。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、(次の手順はスキップして) ここで終了です。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがある場合は、初めにそのカスタムキャリブレーションセットと関連付けた出力プロファイルのコピーを削除します。このプロファイルは今後不要になります。

#### 出力プロファイルのコピーを削除するには

- 1 Command WorkStation の「デバイスセンター」で、「リソース」>「プロファイル」に移動します。
- 2 出力プロファイルのコピー(名前の末尾にカスタムキャリブレーションセットの名前が付けられている)を選択し、「削除」をクリックします。
- 3 「はい」をクリックします。

これで、Color Profiler Suite で作成されたキャリブレーションターゲットを含むカスタム出力プロファイルを作成する手順が完了しました。

新しい出力プロファイルを使用して印刷を行う前に、新しい出力プロファイルと関連付けられたキャリブレーションセットを使用して、Fiery プリントコントローラーを必ずキャリブレートしてください。

### 「現在のキャリブレーションの使用」オプションを使用したプロファイルの作成

このセクションでは、カスタム出力プロファイルを Fiery プリントコントローラーにインポートし、そのプロファイルをあるキャリブレーションセットと関連付ける際に、適切なキャリブレーションターゲットをそのプロファイルに確実に追加する手順を説明します。

カスタム出力プロファイルを作成する前に、次のことを行ってください。

- 「はじめに」のページ 2 で情報を確認する。
- さらに、Fiery プリントコントローラーがキャリブレートされていることを確認する。詳細については、Command WorkStation のヘルプを参照してください。

このセクションでの手順に従い、Fiery プリントコントローラーでカスタムキャリブレーションセットとカスタム出力プロファイルを作成します。

**メモ：** カスタムキャリブレーションセットを作成するには、Command WorkStation にシステム管理者の権限が必要です。

### カスタムキャリブレーションセット（サポートされている場合）と一時的なデフォルト出力プロファイルを作成するには

#### 1 プロファイルを設定する用紙を使用して、プリンターの準備を整えます。

プリンターの準備を整える良い方法は、かなりの量のすべてのトナーを必要とするジョブを 20 枚以上印刷することです。

#### 2 Command WorkStation で、「サーバー」> 「キャリブレート」を選択します。

Calibrator が別ウィンドウで起動します。

#### 3 「測定方法」で、ES-1000 を選択します。

この選択では、ES-1000 または ES-2000 分光光度計を使用することができます。

#### 4 「キャリブレーションセット」で、「管理」を選択します。

「管理」オプションが使用できない場合は、お使いの Fiery プリントコントローラーはカスタムキャリブレーションセットをサポートしていないことを示しています。この場合、使用する用紙に最も近い用紙向けの工場出荷時設定のキャリブレーションセットを使用して Fiery プリントコントローラーをキャリブレートしたら、[ステップ 9](#)にスキップします。

**メモ：** 「管理」オプションが使用できず、お使いの Fiery プリントコントローラーには 1 種類の用紙向けのキャリブレーションセットしか付属していない場合は、そのキャリブレーションセットを使用してキャリブレートしたら、[ステップ 9](#)にスキップします。

### 5 一覧からいずれかのキャリブレーションセットを選択します。

使用する用紙に最も近いキャリブレーションセットを選択します。たとえば、そのキャリブレーションセットは、同じブランドでも重さが異なる用紙向けの場合があります。

### 6 「推奨用紙」の説明を新たに入力した後、これ以外に表示される印刷オプションの設定を選択し、「保存」をクリックします。

「推奨用紙」に、用紙パッケージの説明をそのまま入力します。これ以外に表示される印刷設定（「画面」など）を行います。

画面設定やその他の印刷設定は、このキャリブレーション設定に特有のもので、最良の結果を得るには、使用する印刷設定の組み合わせごとに別のキャリブレーション設定を使用してください。

### 7 カスタムキャリブレーションセットの名前を入力し、これに関連付ける出力プロファイルを選択します。

用紙の種類と印刷設定（解像度や画面など）を示す名前にしてください。

ここで、出力プロファイルを選択します。カスタム出力プロファイルとのこの関連付けは、プロファイルを作成した後に、変更することになります。

### 8 「OK」をクリックしたら、次のセクションキャリブレーションページを印刷し、測定するには進みます。

選択した出力プロファイルのコピーが作成され、新しいキャリブレーションセットと関連付けられます。そのコピーには、キャリブレーションセットの名前が末尾に付加されます。コピーされたこのプロファイルは、カスタム出力プロファイルを新規に作成した後に、削除することになります。コピーされた出力プロファイルは、印刷には使用しません。

### 9 作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、Command WorkStation の Profile Manager で既存の出力プロファイルのコピーを作成します。

Command WorkStation でプロファイルをエクスポートし、それを新しい名前でもインポートすることにより、既存の出力プロファイルをコピーすることができます。インポートする際には、「ドライバーでのラベル」プロファイル設定は「指定なし」のままにしておき、どの「メディアタイプ」設定も選択しないようにします。手順については、Command WorkStation のヘルプを参照してください。



## キャリブレーションページを印刷し、測定するには

### 1 Calibrator で、お使いのカスタムキャリブレーションセットを選択します。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、使用する用紙に最も近い用紙向けの工場出荷時設定のキャリブレーションセットを選択します。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがなく、お使いの Fiery プリントコントローラーには 1 種類の用紙向けのキャリブレーションセットしか付属していない場合は、そのキャリブレーションセットを選択します。



## 2 キャリブレーションページを印刷し、測定します。

手順については、Command WorkStation のヘルプを参照してください。

パッチページを印刷する際、用紙サイズが A3、タブロイドやさらに大きい場合、パッチレイアウトを 34 ソート済みパッチに設定します。用紙がセットされている用紙トレイを選択します。

可能ならば、コピー枚数を 15 に設定します。印刷された最終ページの 1 つ前のページのみを測定します。コピー枚数を増やせば、プリンターの準備はさらに整います。

## 3 「適用」をクリックして、測定値を保存します。

一時的なデフォルト出力プロファイルを使用してキャリブレーションターゲットを設定するには

### 1 Calibrator で、「エキスパート」モードを選択します。

### 2 お使いのカスタムキャリブレーションセットが選択されていることを確認します。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、使用する用紙に最も近い用紙向けの工場出荷時設定のキャリブレーションセットを選択します。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがなく、お使いの Fiery プリントコントローラーには 1 種類の用紙向けのキャリブレーションセットしか付属していない場合は、そのキャリブレーションセットを選択します。

### 3 「測定値の表示」(オプション)で、「測定対ターゲット」を選択し、「表示」をクリックします。

### 4 測定した C、M、Y、K の D-Max 値をメモしたら、「完了」を 2 回クリックして Calibrator を終了します。

ターゲット (Targ) 値ではなく、測定 (Meas) 値を必ずメモしてください。

### 5 Command WorkStation の「デバイスセンター」で、「リソース」> 「プロファイル」に移動します。

### 6 出力プロファイルのコピー（名前の末尾にカスタムキャリブレーションセットの名前が付加されている）を選択し、「編集」をクリックします。Color Editor と Fiery Profile Editor の選択肢が表示されたら、「Color Editor」を選択します。

このプロファイルを一時的なプロファイルとして使用して、カスタム出力プロファイルの D-Max 値を設定します。

### 7 D-Max 値をステップ 4 でメモした値に変更します。

**メモ：** Command WorkStation のバージョンによっては、D-Max 値は別の「密度比率」タブに表示される場合があります。

### 8 「保存」をクリックし、現在の名前のままにしておき、もう一度「保存」をクリックして、編集したプロファイルを保存します。

### 9 「閉じる」をクリックして、Color Editor を終了します。

### 10 Command WorkStation の「デバイスセンター」で、「カラー設定」> 「カラー管理」に移動し、「エキスパート設定」をクリックします。



- 11 「出力」タブをクリックし、その設定をメモします。

終了後に、現在の設定に戻すことになります。

- 12 「デフォルト出力プロファイル」で、編集したばかりのプロファイルを選択し、「可能ならばメディア定義済みのプロファイルを使用する」オプションを無効にし、「OK」をクリックします。
- 13 画面の右側に表示されているキャリブレーションセットが、お使いのカスタムキャリブレーションセットであることを確認します。
- 14 「適用」をクリックして、設定を保存します。

このカスタムプロファイルが、デフォルト出力プロファイルになります。

### カスタム出力プロファイルを作成し、Fiery プリントコントローラーにインポートするには

- 1 Color Profiler Suite で、「プリンター」をクリックして Printer Profiler を起動したら、「パッチの印刷」をクリックします。
- 2 「ようこそ」画面で、「Fiery サーバーの選択」をクリックし、Fiery プリントコントローラーを選択し、「次へ」をクリックします。

Fiery プリントコントローラーはネットワークに接続されている必要があります。

- 3 「キャリブレーションセットアップ」で、「現在のキャリブレーションの使用」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 4 「印刷設定」画面で、928 パッチ以上のパッチレイアウトを選択し、セットの数を 15 に設定し、「次へ」をクリックします。

コピー枚数を増やせば、プリンターの準備はさらに整います。ページの 1 または 2 セットのみを測定します。

- 5 使用する用紙に適したメディア設定を選択し、カスタムキャリブレーションセットを作成する際に選択したのと同じ印刷設定（ハーフトーン画面など）を選択し、「印刷」をクリックします。

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、工場出荷時設定のキャリブレーションセットを使用してキャリブレートする場合と同じ印刷設定を選択します。

- 6 測定ページを測定し、測定値を保存します。

最良の結果を得るには、印刷されたページの最終セットと、その前の印刷されたいくつかのセット（12 番目と 15 番目のセットなど）を測定します。

- 7 「平均測定値」画面で、「次へ」をクリックします。

「平均測定値」画面は、ページのセットを複数測定した場合にのみ表示されます。

- 8 「サマリー」画面で、「平均測定変動」と「最大測定変動」を確認し、「次へ」をクリックします。

平均値が 5 dE 以下であることを確認します。最大値が 8 dE 以下であることを確認します。

これらの値が大きすぎる場合：

- 「戻る」をクリックし、いずれかの測定セットを削除したら、「次へ」をクリックします。その値をもう一度確認します。

- 測定し直すことを検討します。Printer Profiler を一端中止し、測定プロファイリングパッチで再度起動します。

**9 「設定の適用」画面で、プロファイルを設定している用紙に最も近い用紙向けの既存の出力プロファイルを選択します。**

たとえば、プロファイルを設定している用紙がコート紙の場合、コート紙向けの出力プロファイルを選択します。作成しているプロファイルの設定には、選択したプロファイルの設定を使用します。

**10 (オプション) GCR を増加させるには、「ブラックコントロールの編集」をクリックし、「ブラック幅」を増加します。**

GCR が増加するとメタメリズムが減少しますが、粒状性は増加する場合があります。

**11 「プロファイルの保存」画面で、Fiery プリントコントローラーが選択されていることを確認し、「Fiery サーバーにインストール」をクリックします。**

**12 プロファイルを保存する際に表示される「プロファイル設定」画面の「キャリブレーション」で、作成済みのカスタムキャリブレーションセットが選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。**

作成済みのカスタムキャリブレーションセットがない場合は、使用する用紙に最も近い用紙向けの工場出荷時設定のキャリブレーションセットを選択します。

カスタム出力プロファイルは Fiery プリントコントローラーにインストールされ、指定したキャリブレーションセットと関連付けられます。

**13 「完了」をクリックして、Printer Profiler を終了します。**

カスタム出力プロファイルが Fiery プリントコントローラーにインポートされる際に、デフォルト出力プロファイルのキャリブレーションターゲットは、このカスタム出力プロファイルと関連付けられます。

これで、お使いのカスタム出力プロファイルには正しいキャリブレーションターゲットが設定され、そのプロファイルはお使いのカスタムキャリブレーションセットと関連付けられます。一時的なデフォルト出力プロファイルは今後不要になるので、Fiery プリントコントローラーから削除することができます。

**一時的なデフォルト出力プロファイルを削除するには**

- 1 Command WorkStation の「デバイスセンター」で、「カラー設定」> 「カラー管理」に移動し、「エキスパート設定」をクリックします。
- 2 「出力」タブをクリックし、デフォルト出力プロファイルを設定し、「可能ならばメディア定義済みのプロファイルを使用する」オプションを元の設定に戻し、「OK」をクリックします。
- 3 「デバイスセンター」で、「リソース」> 「プロファイル」に移動します。
- 4 一時的な出力プロファイル選択し、「削除」をクリックします。
- 5 「はい」をクリックします。

これで、キャリブレーションターゲットを含まないカスタム出力プロファイルを作成し、そのプロファイルを Ficry プリントコントローラーにインポートする際にキャリブレーションターゲットを追加する手順が完了しました。